

ようてい

8

2021 August
No.291



馬鈴薯の花と羊蹄山 (真狩村)



袴田 翔貴さん (喜茂別町)



学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第18回 「平和と公正をすべての人に」

16 平和と公正を
すべての人に



目標16「平和と公正をすべての人に」

～持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する～
世界では、テロや紛争、暴力などで命を落としたり、住む場所や大切な人を失っている人々がいます。日本ではなかなか実感がわかないかもしれませんが、今この瞬間も不安や恐怖におびえている人々がいるのです。「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神で、世界平和を目指していきましょう。

わたしたちができる身近な取り組み

■現状を知ろう!

今、世界でどんなことが起きているのかを知ることは、自分にできることを見つけるためにもとても大切なことです。テレビやニュースで見かけたときは調べてみたり、周りの人と話してみることで理解が深まり、みんなで目標を意識することにつながります。イベントや募金活動に参加することもわたしたちにできる身近な取り組みの一つです。

■政治に参加しよう!

近年、選挙の投票に行かない人が増加しており、特に20～30代の若い世代の割合が多いのが現状です。これからの日本の未来を生きていく世代だからこそ、選挙に行き、自分の意見を少しでも発信していくことが必要とされています。日本では18歳から選挙権があるので、積極的に政治に参加し、自分の意見を届ける機会を大切にしましょう。

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの

「平和と公正をすべての人に」

- ・反社会的勢力との取引排除への取り組み
- ・コンプライアンス遵守の徹底
- ・ヒバクシャ国際署名活動の支援
- ・マネロン対策

今後取り組むべき

「平和と公正をすべての人に」

- ・ボランティア活動への参加
- ・地域のパトロール活動

参考：「1時間でよくわかるSDGsと協同組合」

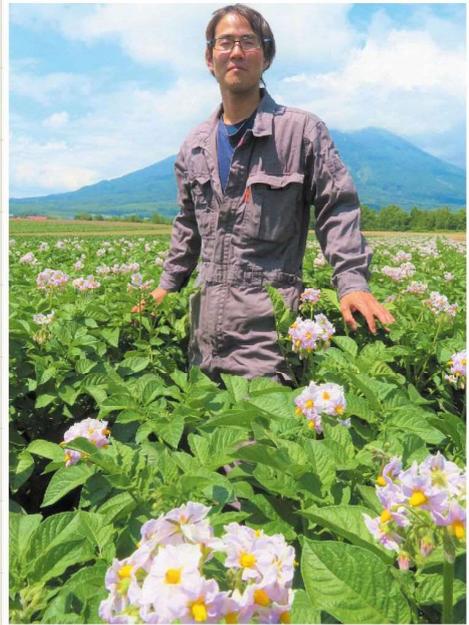
「EduTownSDGsわたしたちが創る未来」

(<https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-16.html>)

農のアイデア

JAようてい青年部 真狩支部支部長 武田 保さん取材しました！

JAようてい青年部真狩支部は医療福祉従事者への応援と感謝を込めて、真狩村の農産物を無償で提供する「医療・福祉従事者プロジェクト」の取組みを行っています。独自で活動を始めた青年部真狩支部の武田保支部長に話を聞きました。



活動を始めたきっかけは

昨年5月の役員会で、新型コロナウイルスの感染リスクと日々闘っている医療・福祉従事者の方々に何かできないかと青年部員(当時52名)で協議し、「中止になった研修会や視察の予算を使い、真狩村産の新鮮な農産物を無償で提供することはできないか」「真狩村のおいしい野菜を食べて元気になってもらえるのでは」等の意見が出たことがきっかけで「医療・福祉従事者応援プロジェクト」が始まりました。

苦労したことは

送り先の選定でした。今回のプロジェクトは医療・福祉従事者の方々への応援と感謝を目的として始まった活動だったのですが、送る量には当然限りがあるので、送ることのできなかった施設や病院には不平等というか、申し訳ない気持ちになりとても心苦しかったです。ただ、我々の活動を見て他支部の皆様がこのプロジェクトのような活動してくれたおかげで、僕たちだけでは送ることのできなかった医療・福祉従事者の方々にも無償で提供することができたので、取組みが広がってくれて本当に嬉しく思います。

同じ活動を考えている方々へアドバイスを

我々が最初にプロジェクトを行ったときは勢いに任せて送り先を決めて、部員からは野菜を買い取り「とりあえず送ってみよう！」という感じで始まりました。意外に成功したので、まずは勢いに任せてやってみると良いと思います。また、農産物を送るだけではなく、自分たちの村や町のパンフレットや資料を入れることで地域の魅力を知ってもらうきっかけになり、今後の消費・販路拡大につながり、お互いウィンウィン関係を築くことができるのではないかと思います。この活動も一つのチャンスだと考えて、助け合いの活動が広まってくると嬉しいです。

お忙しい中、取材のご協力ありがとうございました。



【ニセコ町 佐藤英一さん インタビューさせていただきました！】

メロン栽培を始めて50年、当JA職員がニセコ町の佐藤英一さんを取材しました。

佐藤さんは高校卒業後、1971年よりメロンの栽培を続けています。「定期的に土壌分析を行うことや有機質の肥料・独自で考えた米ぬかを肥料として入れる等の工夫をし、甘くて美味しい綺麗なメロン作りを目指しています。50年やってきたけど、天気や気候等に順応していかなければいけないから毎年（メロン栽培）1年生の気持ちで作っています。」とメロン栽培のこだわりと面白さについて笑顔で語ってくださいました。



取材のご協力、ありがとうございました！



毎年6月中旬に「ようていメロン」として初競りに出品されている佐藤さん。今年は6月17日に札幌みらい中央青果卸売市場で行われた初競りで、糖度17.5度のメロンが高く評価され、秀品5玉1ケース10万円の高値が付けられました。「メロン栽培は手間がかかるし大変だけど、その分やりがいもあって楽しさもあります。美味しいメロンを食べて好きになってもらい、メロンを作りたいと思ってくれる人が現れてくれると嬉しいです。」と後継者不足の現状への希望も話されました。

記事は6月30日の日本農業新聞にも掲載され、佐藤さんのメロンに懸ける熱い想いが語られています。

【大根・ブロッコリー共選施設が稼働しました！】

6月29日より留寿都地区の大根集出荷選別施設、6月30日より真狩地区のブロッコリー集出荷選別施設がそれぞれ稼働しました。

令和3年度の共選大根は耕作者93戸、約364ha、

生産量約21,400tで10月17日頃までの選果、共選ブロッコリーは耕作者100戸、約200ha、生産量約6,310tで10月20日頃までの選果をそれぞれ予定しています。



大根選果の様子



ブロッコリー 箱詰めの様子



JAようていトマト生産組合 目合わせ会が行われました!

7月7日、JAようていトマト生産組合の目合わせ会が行われ、約30名の生産者が参加しました。

今年度の目合わせ会は新型コロナウイルスの影響により、蘭越町のトマト集出荷選別施設と喜茂別町の定温倉庫の2か所に分かれての実施となりました。

当日は、当JAトマト販売担当者より令和3年産の取扱状況や概要について、施設担当者より規格基準についての説明があり、生産者と規格等の確認を行い



ようてい産トマトは道外市場でも大人気です!



夏野菜の代表「トマト」を食べて元気!

ました。JAようていトマト生産組合 気田洋人副組合長は、「この目合わせ会で規格基準等を再確認し、質の良いトマトを出荷していきたいです。」と話してくださいました。また、今回の目合わせ会は、コロナ禍でなかなか集まることのできない生産者同士の意見交換の場としても重要な役割を果たしました。

作付面積は約16.3ha、集荷量は約1,455.7tの取扱いを計画しています。

JAようていブロッコリー生産組合 目合わせ会が行われました!

7月9日、真狩野菜共選施設にて、JAようていブロッコリー生産組合の目合わせ会が行われ、関係者含め約50名が参加しました。

当日は、当JAブロッコリー販売担当者より令和3年度のブロッコリー取扱要領について説明がありました。また、講師として札幌みらい中央青果(株)野菜2部 木下忠部長をお招きし、新型コロナウイルスの影響や現在の販売環境等について説明していただきました。木下部長は、「ブロッコリーは家庭内の消費が多く、新型コロナウイルスによるマイナスの影響は今年も

無いと思います。全道的に生産量が増えてきているので、ブロッコリーは価格よりも消費量を増やすことが重要になってきます。」と話されました。

JAようていブロッコリー生産組合 守谷隆伸組合長は、「今回の目合わせ会を参考にようてい産のブロッコリーの品質向上につなげていきましょう。栽培講習会や生産者同士の意見交換を行い、美味しいブロッコリー作りの参考にしましょう。」と挨拶されました。

作付面積は約200ha、集荷量は約6,310tの取扱いを計画しています。



目合わせ会の様子



品質向上に向けた生産者同士の意見交換なども行われました!



家庭菜園青空教室が開催されました！

7月7日、京極町北岡・中野地区にて後志農業改良普及センター主催の「家庭菜園青空教室」が開催されました。この研修会は今回で2回目となり、家庭菜園のQ&Aと情報交換を目的としています。

当日は普及センターより4名、当JA職員3名、京極



家庭菜園のコツや作業状況について共有しました



研修会の様子

町重点地区女性部員6名の計13名が出席しました。6軒の部員宅を伺い、家庭菜園を見ながら栽培のコツや作業状況等について、部員や関係職員の情報交換の場となりました。

種子馬鈴しょ圃場検査 全日程が終了しました！

6月22日に黒松内町・蘭越町から始まった令和3年度種子馬鈴しょ圃場検査の全日程が7月21日をもって終了しました。

種子馬鈴しょウイルスの対象病害の有無等について、植物防疫官(員)・地区代表補助員による圃場検査が3期に分けて行われました。

今後も徹底した管理のもと、良質な健全種子馬鈴しょ生産を目指して参ります。



圃場検査の様子

令和2年度JA共済優績組合表彰を受賞しました!

7月2日、当JA本所にて、令和2年度JA共済優績組合表彰の表彰式が行われました。

「JA共済優績組合表彰」とは、JA共済の契約実績や普及活動等で優れた実績を挙げたJAを表彰するもので、当JAは平成26年度にも受賞しています。当JAは、令和2年度の共済推進ポイントの前年対比が、自動車共済104.3%、自賠責共済102.8%という実績で、組合員の広範囲な自動車保障の拡充と事業の発展に大きく貢献したことにより

今回の受賞に至りました。当日は、共済連札幌支所 岡部支所長より受賞の伝達が行われ、八田組合長に表彰状が手渡されました。八田組合長は、「今後も組合員、地域住民の皆様が満足する広範囲な保障を提供して参りたい。」と話しました。

令和2年度の受賞はJAようていとJA新はこの2JAとなりました。今後も事業推進に邁進して参りますので、組合員や地域住民の皆様の一層の結集とご理解ご協力をお願い申し上げます。



岡部支所長より受賞の伝達が行われました



組合員・地域住民の皆様、今後ともよろしくお願ひ申し上げます

Hello

Thanks

See you

今日から使える!一言英会話
NO.12 [one by one.]

なるべく短い英語で伝わる日常英会話をご紹介します「一言英会話」。
先月号で紹介した「Let's take a break.」はもうマスターしましたか?
今月号も気軽に使えるフレーズをLesson!

「one by one.」
ワン バイ ワン
(一つずつ)



“by” はさまざまな役割をもつ前置詞ですが、今回は「単位」を表すbyとして登場! 「one by one」はその他にも「step by step (一歩ずつ)」「little by little (少しずつ)」「day by day (日ごとに)」など、セットにする単語を変えることで多くの表現に変化させることができます。単位を表す単語でbyをサンドイッチのように挟むイメージで覚えましょう!

参考: 「Vision Quest 総合英語」

JAへ100%就職 (令和2年度実績)

令和4年度 第1回学生募集

大学・短大・専門学校
高校生大歓迎

- 定員60名 ● 男女共学 ● 1カ年、全寮制 ● 満24歳未満(令和3年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日: 9月25日・26日 ● 願書受付: 7月15日~8月31日消印有効 ● 学校見学もできます

お問い合わせ
資料請求

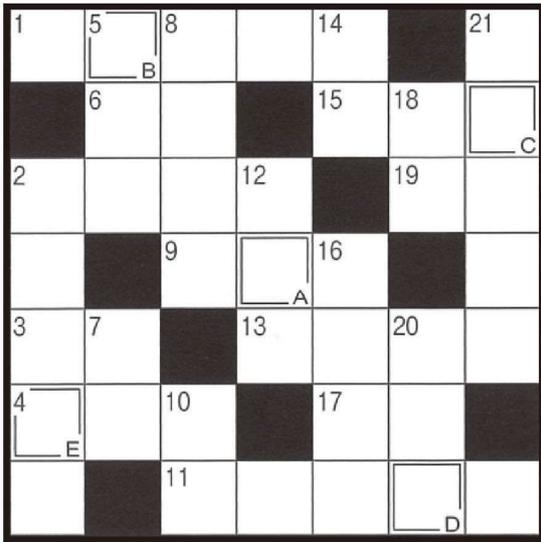
JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 JAカレッジ 検索

パズル! 頭の体操

Puzzle
Atama no Taisou



解答は次号に掲載します!

先月号の答えは サンドル

7月号は12名の応募があり、当選者はみーさん(二セコ町)、ヤッホーさん(京極町)、匿名希望さん(倶知安町)の3名です。ご応募頂き、ありがとうございました。

【応募方法】

応募用紙にご記入の上、FAX等にてご応募下さい。また、項目①～⑦を必ずご記入の上、はがき、ホームページお問い合わせフォームからもご応募できます。ぜひご応募ください。

はがき: 〒044-0011 倶知安町南1条東2丁目

JAようてい 管理本部企画経営課 行

FAX: (0136) 21-2321

ホームページ: <https://www.ja-youtei.or.jp/>



QRコード

キリトリ線

JAようてい広報誌

パズル! 頭の体操

応募用紙

FAX: (0136) 21-2321

JAようてい

管理本部企画経営課 行

締切

令和3年8月22日

①パズルの答え

②住所 〒 -

③氏名

④ペンネーム

⑤ようてい農協との関係(いずれかに○を) 正組合員・准組合員・その他

⑥今号の好きな記事・ページ

⑦コメント(広報誌の感想・農協への意見など)

- ② 鉱石を高温でドロドロにする装置。高炉とも呼ばれます
- ⑤ 川や池の土手のこと
- ⑦ 信号機で「止まれ」を示す色
- ⑧ 家屋を壊して新しく造り直すこと
- ⑩ 墨も料理に利用する魚介
- ⑫ 大きな魚はこの形でパック詰めされていることが多い
- ⑭ 令和3年の——の日は8月8日。国民の祝日です
- ⑯ ねぶた祭で知られる県
- ⑰ 「五七五七七」などの形式で作られます
- ⑳ 飛行機で人や荷物を運ぶこと
- ㉑ 井戸端会議中に楽しむもの

タ
テ
の
カ
ギ

- ① 最低気温が25度以上の夜のこと
- ② 寺子屋では字の——やそろばんを教えました
- ③ 地球の中心部にあります
- ④ 長良川で有名な伝統漁法
- ⑥ 親戚の——を頼って仕事に就いた
- ⑨ 高速道路のサービス——で一休みした
- ⑪ 親潮は千島——とも呼ばれます
- ⑬ 帰る客を玄関まで——に行ったら
- ⑮ 力士が腰に締めます
- ⑰ 割、分、厘の次
- ⑲ 虫が入ってこないように布団の周りにつるします

ヨ
コ
の
カ
ギ



賞品 正解者の中から毎月3名の方に、2,000円分の農協全国商品券をプレゼント!(農協全国商品券は株Aコープようてい等でご利用できます。)

【記入項目】

- ①パズルの答え
- ②〒・住所
- ③氏名
- ④ペンネーム
- ⑤JAようていとの関係
(正組合員・准組合員・その他)
- ⑥今号で好きな記事・ページ
- ⑦広報誌の感想・農協への意見

【締切】

令和3年8月22日